

【注】

資料には令和3年度予算の内示額が掲載されていますが  
3月市議会の議決を経て、正式に決定されるものです。



# 地域まちづくり未来事業計画

《 櫛引版 》



鶴岡市櫛引庁舎  
令和3年2月現在

# 目 次

1	地域まちづくり未来事業計画について	P1
	(1) 策定の趣旨	
	(2) 計画期間	
	(3) 計画の位置付け	
	(4) 財源について	
2	櫛引地域の振興方針と施策の方向について	P3
3	櫛引地域の実施事業について	P4
	櫛引地域まちづくり未来事業一覧	
	個別事業資料	

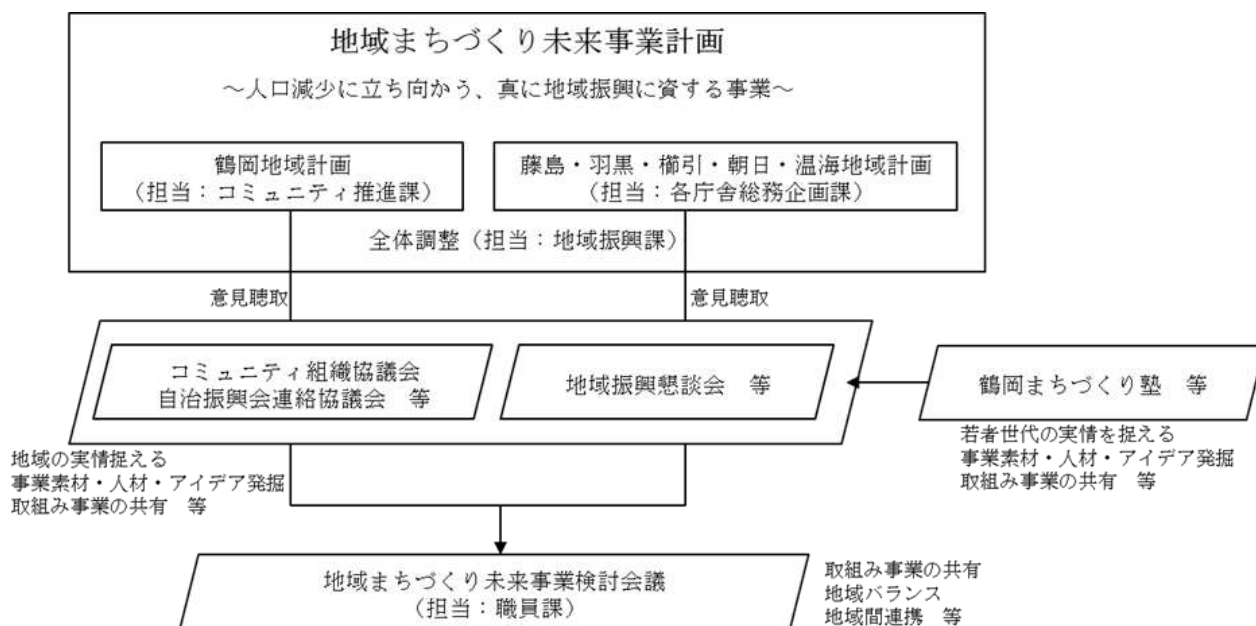
# 1 地域まちづくり未来事業計画について

## (1) 策定の趣旨

「地域まちづくり未来基金」の設置目的である「地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展」を図るため、「人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する」事業を地域まちづくり未来事業として実施することとし、これを地域まちづくり未来事業計画の中に位置づけ明らかにします。

地域まちづくり未来事業計画に基づいて地域ごとに事業を実施することにより、魅力あるまちづくりを推進するものです。

また、策定にあたっては、全ての地域が個性を發揮し、その魅力を高めるとともに、人材を育成していくまちづくり活動を活性化できるよう、各地域振興懇談会や鶴岡まちづくり塾、地域まちづくり未来事業検討会議など、様々な場面において地域の意見を伺い反映しています。



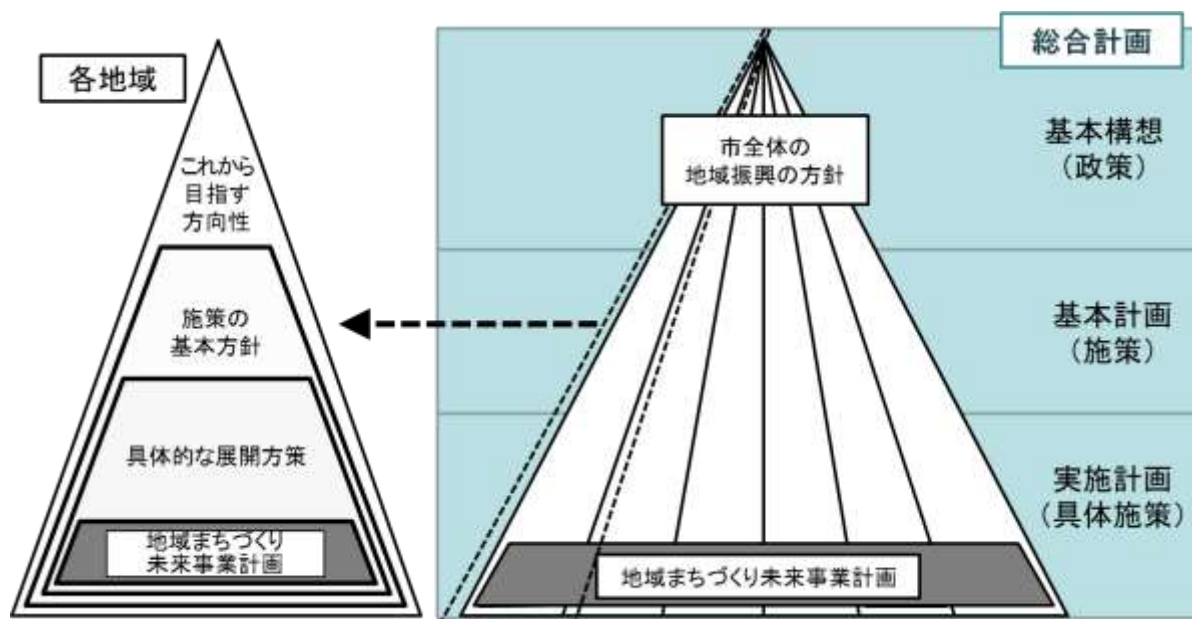
### 【地域まちづくり未来事業計画策定のイメージ】

## (2) 計画期間

平成31年度から概ね3年程度とし、年度ごとに見直しを行います。

### (3) 計画の位置付け

地域まちづくり未来事業は、第2次総合計画【計画期間：2019年度（平成31年度）から10年間】及び各地域の地域振興計画【計画期間：2019年度（平成31年度）から5年間】において、地域振興の方針を実現するためのより具体的な施策として位置づけられます。



【総合計画と各地域振興の方針・地域まちづくり未来事業計画の関係】

### (4) 財源について

地域まちづくり未来事業は、主な財源として「地域まちづくり未来基金」を充てるほか、交付税措置の起債の充当のほか、活用できる国・県等の交付金なども活用します。

## 2 櫛引地域の振興方針と施策の方向について

### 地域振興の基本方針

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地などの豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、地域内外のたくさんの人々が集い交流する賑わいの創出と、ここに住む人が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引の果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの先進的な取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化と果樹を中心とした産業振興の拠点づくりを進めます。また、農業体験や自然体験の環境整備を進めることで都市部との交流人口の拡大を図り、地域を越えて連携する広域の観光周遊の仕組みづくりに取り組みます。

黒川能を始めとする貴重な伝統芸能の保存と継承を支援し、あわせて観光資源としての活用を図ります。また、赤川周辺の施設や自然、芸術作品などを活用した憩いと賑わいの拠点づくりを進め、地域の活性化につなげます。

少子化や高齢化、人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための、地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全で安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

### 施策の方向

#### 1. 果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくり

櫛引地域の強みである果樹生産を一層振興し、観光果樹園や加工、直売の6次産業化も促進しながら、地域農業の活性化を図ります。

- (1) 果樹生産基盤の整備推進
- (2) フルーツの里ブランド化の推進
- (3) 観光果樹園の拡大とネットワーク化
- (4) 担い手育成と樹園地流動化の推進

#### 2. 農業自然体験に着目した都市農村交流の推進

農業体験や農家民宿、産直、観光果樹園などと、自然や歴史文化などの地域資源を活用したネットワークを形成し、交流人口の拡大を図ります。

- (1) 都市交流人口拡大の推進
- (2) 農業自然体験フィールドの充実
- (3) 体験型観光農業の充実

#### 3. 地域を越えて連携する広域観光圏の形成

櫛引地域単独の取り組みを越えて黄金地区、朝日地域と本市南部地区の広域観光圏の形成を図ることで、出羽三山と連携した滞在型観光を組成していきます。

- (1) 南部（櫛引・朝日・黄金）広域観光拠点の整備
- (2) 地域主体の二次交通システム開発
- (3) 広域観光幹線道路の整備促進

#### 4. 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

黒川能や丸岡城跡など貴重な歴史文化資源と、これらの連綿とした地域の伝承活動を確実に保存継承しながら、さらに価値を高めていく取り組みを推進します。

- (1) 黒川能等民俗芸能の継承支援
- (2) 歴史文化の活用促進

#### 5. コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進

地域の担い手の育成や広域コミュニティの設置検討、集落の連携などの新たな仕組みづくりを支援します。健康維持の拠点づくりや地域公共交通の構築など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を進めます。

- (1) 活力と持続性のあるコミュニティの推進
- (2) 協働のまちづくりと地域の賑わい創出
- (3) デマンド交通や外出支援策の推進
- (4) 健康で安全・安心なまちづくりの推進
- (5) 地域資源を活かした地域づくりの推進

### 3 実施事業について


(令和3年度版)


#### 櫛引地域まちづくり未来事業一覧

(単位：千円)




No.	事業名	事業内容	R3当初 予算額	事業 期間
<b>1. 果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくり</b>				
1	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	担い手確保やブランド化等の課題解決に向けた「果樹産地強化プラン」の策定と、関係機関が一体となった取組みによる産地強化を図る。	3,000	R1~R5
<b>2. 農業自然体験に着目した都市農村交流の推進</b>				
2	櫛引地域都市農村交流促進事業	横浜青木小との交流、農家民宿の活動などを通じて、交流人口の拡大や農産物の販路拡大などを促進する。	274	R1~
3	たらのきだいのネイチャーパーク事業	櫛引たらのきだいのスキー場は、ファミリーや初心者向けに重点を置くこととし、そのためにレンタル物品、そり乗り場やカラフル照明等を整備した。ほのかたらのきだいは、現状を勘案し運営や活用方法を検討していくこととして事業は完了した。	完了	R1~R2
<b>3. 地域を越えて連携する広域観光圏の形成</b>				
4	鶴岡市南部エリア観光周遊ルート魅力発信事業	鶴岡市南部エリア（櫛引、朝日、黄金等）との広域観光を推進するため、関係の観光組織・団体において情報交換・周遊ルートの設定を行い、マイカー・レンタカー利用による周遊ルートの設定を図りつつ、鶴岡DEGAMを通じた情報提供・情報を発信する。	予算の伴わない事業として実施	R1~R5
<b>4. 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進</b>				
5	黒川能アーカイブ事業	黒川能の映像・音声データのデジタル化保存と新たな音源を収録し、伝承活動への活用を図る。	760	R1~R3
6	黒川能保存伝承支援事業	保存伝承研究会（公開調査）開催支援や東小児童仕舞い指導による担い手育成、黒川能保存会運営補助金による支援を行う。	3,132	R1~
7	能楽青年交流事業	首都圏大学等の能楽合宿誘致による黒川能PRと若手能役者との交流、黒川能伝習館の有効活用などを行う。	400	R1~R4
8	丸岡城跡環境整備事業	利用拡大のため大型バスでの来訪等にも対応できる駐車場の整備 ※R2予算繰越明許5,515千円 5月完成予定	-	R2(~R3)
9	櫛引綴れ織り文化保存事業	故遠藤虚籟の顕彰と櫛引綴れ織りの保存継承と認知度を高めるための情報発信等を支援する。	610	R1~R5
<b>5. コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進</b>				
10	櫛引地域デマンド交通導入事業	高齢化社会の住民ニーズに沿った既存の公共交通を補完する新たな地域公共交通システムの構築する。赤川右岸地域においてデマンド方式の公共交通を運行する。	3,477	R1~
11	くしびき若者未来創造事業	地域の若者を対象とした研修や討論を通じてまちづくりへの若者の参画を図る。	253	R1~R4
12	櫛引地域希少淡水魚保存事業	絶滅危惧種イバラトミヨの種の保存と、公開展示等による保護意識の高揚を図る。	128	R1~
13	櫛引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	住民協働による市推奨花サルビア植栽活動で、美しく住みよい生活環境づくりを支援する。	350	R1~
14	くしびき夏のイベント推進事業	水焰の能の前日に地域の賑わい創出事業として開催する「くしびき夏まつり」事業を支援する。（JA、商工会、工業団地連絡協議会等による実行委員会が実施）	360	R1~
15	櫛引地域交通安全・防犯の日啓発事業	交通安全啓発として30年以上続いてきた毎月1日の「交通安全の日」の小旗掲揚について、新たに防犯啓発の内容も加えて小旗を更新し、チラシ等での周知により運動を促進	完了	R1
16	櫛引地域いきいき健康活動拠点運営への支援事業	高齢者の健康維持、生きがいづくり、閉じこもり予防のために各地区が自主的に取り組む活動を支援するため、各種講座・研修を企画するにあたり参考になる講座メニューやその申込先をわかりやすく一覧にまとめたリストを作成・配布する。	予算の伴わない事業として実施	R2~
17	「空にかける階段」インフォメーション事業	櫛引生涯学習センター内各所への作品展示、紹介パネル作成、QRコードからの市HP紹介映像へのリンクを実施し、事業を完了。富樫氏の作品の貸し出し事業、生涯学習センターへの展示については継続して実施する。	完了	R1~R2
18	櫛引地域の情報発信事業（櫛引PR事業）	フルーツ関連に特化した情報として、くしびきフルーツ振興プロジェクト事業の情報発信に統合した。	統合	R1~
19	やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業	赤川かわまちづくり計画と連携した、櫛引赤川エリアの橋梁、管理道路の更新や馬渡の桜並木、レンタサイクル、遊具等の整備	-	R6(R2)~R9
20	山添校閉校後の跡地活用構想	山添校跡地の利活用について県に確認、調整していくとともに市としての活用方法を探る。	-	R2~
21	「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業【新規】	地域おこし協力隊の退任に伴い、事業の継承と、宝谷地区集落ビジョンのブラッシュアップを図るなど、地区住民が主体となり地域活性化に向けて実施する取組みに対処し支援する。	1,000	R3~R4
22	横綱柏戸記念館活性化事業【新規】	櫛引出身の名誉市民(旧名誉町民)で、県民栄誉賞第1号受賞者である横綱柏戸の偉業を、現役当時を知らない世代や地域内外に広く周知、啓発し、地域の活性化を図る。	135	R3~R4
23	櫛引地域公共交通調査事業【新規】	市が計画してきた公共交通再編案の検証と裏付けの調査等を専門家に委託し、櫛引地域公共交通の再編を図る。	1,249	R3

R2予算額合計 15,128 千円

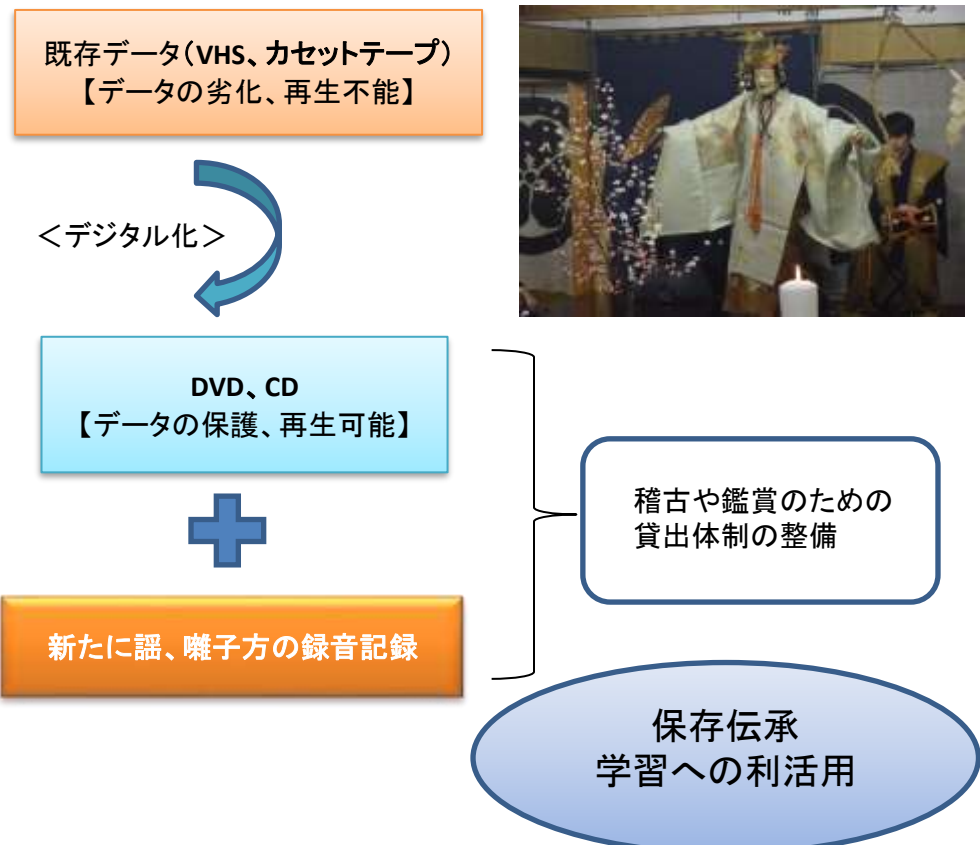
事業名	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	実施年度	R1～R5	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(1) フルーツの里づくり		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・櫛引地域は庄内を代表する果樹産地であるが、生産者の高齢化に伴う離農や規模縮小により販売を目的としない樹園地が増加傾向にある。</li> <li>・水稲との複合経営による少量多品目の果樹生産が特色だが、少量ゆえにブランド化の難しさがある。</li> <li>・果樹農家の担い手確保のためには、生産基盤の強化とともに果樹栽培が経営的に魅力的であることが重要。</li> <li>・また、園地の維持・再生のためには、生産者、JA、産直、農業委員会等の関係機関が一体となって園地継承の仕組みを作っていくことが必要である。</li> </ul>		<div data-bbox="1239 257 2232 1021"> <p><b>具体的取組</b></p> <p>○ 既存の協議会内に検討部会（3つの委員会）を新設【R2年度】</p> <p>実施体制</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>櫛引地域産業振興PJ推進協議会</b>  <small>(事務局：櫛引庁舎産業建設課)</small> </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="text-align: right;">既存</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 150px;"> <b>果樹産地強化検討部会</b> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 30%;"> <b>園地継承・担い手委員会</b>  <small>(農業者, 農業委員会, JA, 市)</small>  <b>目的：担い手の確保</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 園地継承の仕組みづくり</li> <li>● 担い手確保の検討</li> <li>● SEADSとの連携 等</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 30%;"> <b>産地づくり・ブランド力強化委員会</b>  <small>(産直, 果樹部会, JA, 市)</small>  <b>目的：収益の向上</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 品目・品種の再編</li> <li>● 生産技術の高位平準化</li> <li>● 儲かる経営体育成 等</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 30%;"> <b>プロモーション委員会</b>  <small>(観光果樹園, 観光協会, 産直, JA, 市)</small>  <b>目的：需要拡大、誘客強化</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光と連携した産地PR</li> <li>● 果実の需要拡大</li> <li>● 販促活動や情報発信 等</li> </ul> </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="text-align: right;">新設</div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"><b>R3年度に果樹産地強化プランを策定し、R4年度以降の予算に反映</b></p> </div>			
事業目的					
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 果樹担い手の育成確保と樹園地継承システムの構築</li> <li>(2) 需要に応える産地づくり</li> <li>(3) ブランド力の強化による農家所得の向上</li> <li>(4) プロモーションによる産地のPR</li> </ul>					
事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度に櫛引地域産業振興プロジェクト推進協議会に果樹産地強化のための検討部会を設置し、関係団体を構成員として果樹産地の振興に向けた検討を実施しており、検討結果及び市果樹産地構造改革計画の改定を踏まえて櫛引地域果樹産地強化プランを策定する。</li> <li>・生産者の意識づくりやプロモーション活動、情報発信を並行して実施する。</li> <li>・上記を「フルーツの里ブランド化支援事業」により実施し、鶴岡市における果樹振興のモデルケースとするべく取り組む。</li> </ul> <p>[R3年度予算額]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルーツの里ブランド化支援事業補助金 2,850千円</li> <li>・事務費 150千円</li> </ul> <p>[実施体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・櫛引地域産業振興プロジェクト推進協議会が実施主体となり、フルーツの里ブランド化支援事業（補助事業）に取り組む。</li> <li>・協議会で「フルーツの里推進員」を雇用し、事業の推進を図る。（雇用はR5年度まで継続の予定）</li> <li>・協議会の事務局は櫛引庁舎産業建設課に置く。</li> </ul>		<div data-bbox="1239 1029 2232 1542"> <p style="text-align: center;">+</p> <p style="text-align: center;">検討結果に沿った取組</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p><b>その他の取組</b></p> <p>○ 生産・経営に対する意識づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修会・勉強会の開催</li> <li>● 先進地の視察</li> </ul> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p><b>果樹産地の強化</b></p>  <p>各生産者の経営意識の醸成</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[期待する効果]</p> <p>栽培技術の向上 → 品質・単収の向上 → ブランド力向上 → 農家所得の向上 → 果樹農家(担い手)の増加 → 樹園地の維持・再生 → 果樹産地の再興</p> <p>① 観光果樹園入込者数：(H29)18,258人 ⇒ (R3)20,000人 +20%</p> <p>② 果樹販売額(JA+産直あぐり)：(H29)318,000千円 ⇒ (R3)350,000千円 +20%</p> </div> </div>			
		<b>2021(R3)予算額</b>		<b>3,000 千円</b>	

事業名	榊引地域都市農村交流促進事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		榊引地域振興計画での位置づけ	(2) 都市農村交流の推進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>30年近くにわたる都市農村交流は、都市部に鶴岡ファンを多く輩出しており、今後も観光振興やグリーン・ツーリズムの推進、農産物の販路拡大など、多面的な活性化を一層図っていくために、よりステップアップした事業を実施していくことが必要である。</p>					
事業目的					
<p>J A庄内たがわ青年部榊引支部が昭和61年から取り組んできた横浜市立青木小学校との交流は、農業への理解促進をはじめ、榊引南小学校との相互交流や地域農産物の販売、学校給食での「つや姫」の使用などにつながってきた。また、修学旅行の受け入れは、民泊や農業体験、学校間交流など地域全体での取組みに発展している。J A青年部の取り組みを引き続き支援するほか、農家民宿の強化と支援により、交流による活性化や都市部での本市理解者の獲得、地域農産物の販路拡大と交流人口の拡大など多面的な活性化に資する。</p>					
事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流人口拡大の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行受け入れ（農業体験、学校間交流、等）</li> </ul> </li> <li>○榊引地域都市農村交流促進事業補助金〔R3予算額：100千円〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家民宿グループ「黒川能の里の会」への研修支援</li> </ul> </li> <li>○農産物等販路拡大支援事業補助金〔R3予算額：174千円〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲作出前授業、あおきふれあいまつり参加</li> </ul> </li> </ul>					
		2021(R3)予算額		274 千円	



事業名	たらのきだいネイチャーパーク事業	実施年度	R1～R2	事業種別	完了 ハード・ソフト・事業補助																
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(2) 都市農村交流の推進																	
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性																			
<p>「櫛引たらのきだいスキー場」は、ファミリースキー場として多くのスキーヤーやスノーボーダーから絶大な支持を得ているが、全国的なスキーやスノーボード人気の落ち込みと共に入込み客数は全盛期の46%程度となった。</p> <p>「ほのかたらのきだい」は、地域資源活用型の農業構造改善施設として、また、櫛引たらのきだいスキー場利用者への便益施設として、スキー場の厨房や食堂機能を有するロッジに宿泊施設や浴室などを増築して開設した。当初は順調に経営していたが、利用者数は年々減少し、夏場における現在の利用者はほぼ皆無となった。</p> <p>しかし、地域住民や施設利用者からは、両施設存続の強い要望があり、また、民間事業者からは、両施設と連携して交流人口やインバウンドの増加を図りたいという提案がある。</p>		<p>実績</p> <table border="1"> <tr><td>・推進協議会</td><td>13 千円</td></tr> <tr><td>・先進地視察</td><td>23 千円</td></tr> <tr><td>・ひまわり植栽実証実験</td><td>44 千円</td></tr> <tr><td>・基本計画策定</td><td>459 千円</td></tr> <tr><td>・そり乗り場整備</td><td>495 千円</td></tr> <tr><td>・レンタル物品整備補助</td><td>1,200 千円</td></tr> <tr><td>・カラフル照明整備</td><td>1,859 千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,093 千円</td></tr> </table>		・推進協議会	13 千円	・先進地視察	23 千円	・ひまわり植栽実証実験	44 千円	・基本計画策定	459 千円	・そり乗り場整備	495 千円	・レンタル物品整備補助	1,200 千円	・カラフル照明整備	1,859 千円	合計	4,093 千円	  	
・推進協議会	13 千円																				
・先進地視察	23 千円																				
・ひまわり植栽実証実験	44 千円																				
・基本計画策定	459 千円																				
・そり乗り場整備	495 千円																				
・レンタル物品整備補助	1,200 千円																				
・カラフル照明整備	1,859 千円																				
合計	4,093 千円																				
事業目的		評価																			
<p>「櫛引たらのきだいスキー場」と「ほのかたらのきだい」の機能を見直し、それぞれの施設の年間利用者を増加させること</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキー場利用者の増加が見込まれる。</li> <li>・地域の活性化が図られる。</li> <li>・既存施設の有効活用や施設経営の健全化が図られる。</li> </ul>																			
事業内容		今後の方向性																			
<p>○春夏秋季 両施設が連携して自然体験教室等が実施できる週末や期間限定の施設として整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花畑、遊歩道、みはらし台の整備</li> <li>・自然体験学校などの実施</li> </ul> <p>○冬季 ファミリーや初心者向けスキー場を目指して整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者コースやそり乗り場の整備、リフトの整備、カラフル照明の整備、レンタル物品の整備</li> </ul> <p>○民間活力活用の検討 自然体験施設等との連携や冬季インバウンドの受入れなど</p> <p>上記の予定で進めてきたが、現状を鑑みると、通年誘客のために多額の予算を投じて整備することは現実的ではないと判断し、地域に根ざしたファミリーや初心者向けのスキー場としての整備を実施して、当事業は区切りをつけて完了することとした。なお、今後も活用方法等を検討しながら運営することとする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・櫛引たらのきだいスキー場 市街地に近いことやナイター照明が完備している利点を生かし、地域に根ざしたファミリーや初心者向けのスキー場であることを運営の柱に据えて健全経営を継続する。</li> <li>・ほのかたらのきだい 現状を鑑みると、通年誘客のために多額の予算を投じて整備することは現実的ではないと判断し、今後も活用方法等を検討しながら運営することとする。</li> </ul>																			
2021 (R3) 予算額				完了 千円																	

<b>事業名</b>	<b>鶴岡市南部エリア観光周遊ルート魅力発信事業</b>	<b>実施年度</b>	R1～R5	<b>事業種別</b>	継続 ソフト
		<b>櫛引地域振興計画での位置づけ</b>		(3) 広域観光圏の形成	
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>イメージ図・写真等</b>			
<p>本市の観光では、加茂水族館（558,800人/H29）と羽黒山（632,300人/H29）を中心に回っており、プラスして温泉地への宿泊（788,800人/年間）であり、市内全域に目を向けた広域型観光の推進が求められる。</p> <p>櫛引地域の場合、黒川能の里王祇会館、丸岡城跡史跡公園、観光果樹園等の特徴ある観光資源を有するが、櫛引・朝日・黄金地区などと連携した南部エリアとしての観光ルート確立と情報発信が不十分である。また、観光客に対する2次交通の確保が課題であるが、それに応える公共交通環境は整っていないため、マイカーやレンタカーを活用しての周遊が現実的であることから、車による市南部エリアの周遊ルートの確立とPRが必要である。</p>					
<b>事業目的</b>					
<p>櫛引地域の周辺には、黄金地区の金峰山や朝日地区即身仏等が点在しており、これら地域との広域観光圏を形成し周遊ルートを設定することで、四季に応じた地域資源の魅力発信が可能となる。また、本市の日本遺産である「生まれ変わりの旅」の出羽三山、「サムライゆかりのシルク」の松ヶ岡も周遊ルートに組み込むことが可能であることから、これら地域と連携しながら櫛引地域の観光資源の情報発信を推進し、来訪者の増加を促進する。</p>					
<b>事業内容</b>					
<p>市南部エリアの周遊ルート確立のため、関係組織・団体の情報交換と協議を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市南部広域観光の連携 市南部エリアの関係組織・団体の連携のもと、埋もれている観光資源を活用した周遊ルートを設定する。鶴岡DEGAMと連携し県内外に情報発信を行う。</li> <li>○マイカー・レンタカーなど車による周遊の促進 空港・電車での来訪者も含め、鶴岡市内を観光で周遊するのは、観光タクシーももちろんあるが、やはりマイカー・レンタカーである。車での周遊ルート・時間を情報発信し、マイペースな旅の支援を行う。</li> </ul>					
<b>2021 (R3) 予算額</b>					— 千円

事業名	黒川能アーカイブ事業	実施年度	R1～R3	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(4) 歴史文化の継承と活用促進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>黒川能は、黒川地区の2つの能座により500有余年もの間、連綿と受け継がれてきたが、近年の人口減少や少子高齢化の影響で、座加入の戸数および能役者が年々減少傾向にある。</p> <p>また、黒川能の囃子方は譜面でなく口承による指導、稽古で、特有の伝承方法であることから、途絶えかけた演目もあるといわれ、正確に継承していくのが難しい。</p> <p>独特の謡や舞、所作、囃子が特徴である黒川能を継承していくには長い年月を必要とするが、勤務形態や生活環境の変化により、人材の確保および十分な稽古の時間を確保するのも難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。</p> <p>これまで上演された演目や演奏が収録されているものがあるが、VHSやMD等媒体が古いため再生機器もなく、活用されていない状況である。</p>					
事業目的					
<p>既存映像のデジタル化、加えて囃子方等の演奏を撮影収録し、デジタル音源として記録保存することで、伝統芸能の継承を図る。</p> <p>また、記録したDVD、CDを両座の能役者や、学校関係者等に貸出を行い、実際の稽古や伝統芸能の学習等に利活用する。</p>					
事業内容					
<p>【R1、R2年度】</p> <p>○黒川能のVHS映像、謡等のMD音源をデジタル化（DVD化、CD化）し、稽古用、観賞用として整備し、利活用できる体制を構築する。 （VHS等165本、MD50本）</p> <p>【R3年度】</p> <p>○貸出用ディスク複製作成</p> <p>○既存の記録に加え、新たに謡、囃子方の鼓、笛および太鼓の演奏を録音し、デジタル音源として記録保存する。 （1回5曲×8回収録（上座・下座各4回）＝40曲）</p> <p>○貸出体制の確立（要綱様式、リスト、ラックの整備） 貸出開始（R4～）</p>					
		2021 (R3) 予算額		760 千円	

事業名	黒川能保存伝承支援事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(4) 歴史文化の継承と活用促進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>黒川能は、黒川地区の2つの能座により500有余年の間、連綿と受け継がれてきたが、近年の人口減少や少子高齢化の影響で座加入の戸数および能役者、囃子方が年々減少傾向にある。</p> <p>また、独特の謡や舞、所作、囃子、着付けが特徴である黒川能を継承していくには長い年月を必要とするが、勤務形態や生活環境の変化、価値観の多様化、能役者の高齢化等により、人材の確保および十分な稽古の時間を確保するのも難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。</p> <p>そのため、若い世代に伝統芸能に誇りを持ってもらう活動とともに、文化資源を後世に継承していく仕組みづくりと、旅行者など黒川能の理解者の掘り起こしが必要となる。</p> <p>指定管理者である黒川能保存会は、主な収入を寄附金と公演収入としているが、近年は寄附金も減少傾向にあり、また新型コロナウイルスのため公演依頼も激減しており、厳しい財政状況となっている。</p>		<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>【保存伝承の課題】</b></p> <p>・人口減少 ・能役者の高齢化 ・生活環境、価値観の変化</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p><b>【継承の仕組みづくり】</b></p> <p>・人的交流 ・理解促進 ・後継者育成 ・事業の円滑な運営</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid orange; background-color: orange; padding: 5px; border-radius: 5px; text-align: center;">○研究会の実施</div> <div style="border: 1px solid orange; background-color: orange; padding: 5px; border-radius: 5px; text-align: center;">○後継者育成事業</div> <div style="border: 1px solid orange; background-color: orange; padding: 5px; border-radius: 5px; text-align: center;">○黒川能保存会</div> </div>			
事業目的		<p>近年の少子高齢化、生活環境や価値観の多様化により、人材の確保等が難しくなっており、保存伝承が危ぶまれているため、地元櫛引東小学校の児童に対し現役能役者による直接指導を行い、継承の意識付けをし、後継者を育成する。</p> <p>体験用能楽器（30年度整備）と能装束（31年度整備）を活用し、王祇会館を「見る」施設から「体験できる」施設にするとともに、春日神社との連携や体験メニューの開発をすすめ、黒川能への理解促進と来訪者の増加を図る。</p> <p>黒川能保存会の各種事業および管理運営体制を支援することで、継続的な保存伝承に寄与する。</p>			
事業内容		<p>公益財団法人黒川能保存会が行う下記事業に対し補助を行い支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○黒川能保存伝習研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>黒川能に造詣の深い識見者の講演会や伝統芸能の上演。</li> <li>装束や面等黒川能に関する資料の公開調査や調査官による講評を聞く会等。</li> </ul> </li> <li>○後継者育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>現役能役者による演能および囃子方の指導と水焰の能等成果発表機会の創出。</li> </ul> </li> <li>○黒川能保存会運営補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>黒川能保存会の運営事務全般の補助</li> </ul> </li> </ul>			
					
		2021 (R3) 予算額			3,132 千円

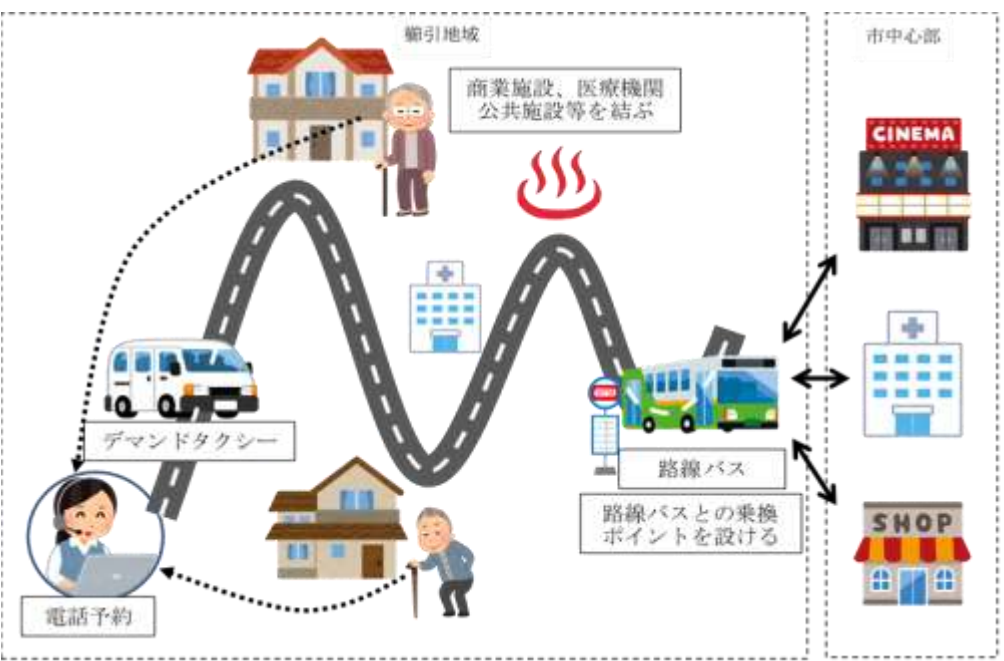
<b>事業名</b>	<b>能楽青年交流事業</b>	<b>実施年度</b>	R1～R4	<b>事業種別</b>	継続 ソフト
		<b>櫛引地域振興計画での位置づけ</b>	(4) 歴史文化の継承と活用促進		
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>イメージ図・写真等</b>			
<p>現在、首都圏の大学の能楽サークルを対象に、能楽青年交流事業により、能楽合宿、地元若手能役者との交流を行っているが、その時限りの関わりとなっている。</p> <p>せっかく黒川に来てもらっても、短期間のため、黒川能と農業、地元住民の関わり、食文化等について、理解や体験があまり出来ずに終了してしまっている。</p> <p>能楽合宿に参加したことをきっかけにリピーターとなってもらい、黒川能への理解促進、農業や食文化等の体験をとおし、長期的な交流へと発展させていきたい。</p> <p>また、黒川能伝習館には能舞台が設置してあり、地元の能役者の稽古に使用されているものの使用頻度は少なく、利活用について検討する必要がある。</p>		<p style="text-align: center;"><b>大学能楽サークル等の合宿 誘致・受入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験</li> <li>・食文化</li> <li>・住民生活</li> <li>・交流会、イベント参加 等</li> <li>【学び・理解促進・交流】</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家民宿</li> <li>・王祇会館</li> <li>・黒川能伝習館 等</li> <li>【利用促進・観光振興】</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>「能楽合宿地 黒川」 の確立</b></p>			
<b>事業目的</b>					
<p>現在取り組んでいる能楽青年交流事業は、首都圏の大学生を対象に、夏季休暇を利用した能楽合宿を行っているが、その時限りの交流になっているため、この事業を通年に拡大し、1年を通した能と農、住民生活の関わりを学んでもらい、能の理解促進、交流の継続につなげる。</p> <p>また、黒川能伝習館、王祇会館、農家民宿の利用促進、観光振興を図り、「能楽合宿地」という分野を確立する。</p> <p>首都圏の大学生や青年のみならず、地元のサークル等にも黒川能伝習館の能舞台を広く貸し出し、宿泊場所には農家民宿を斡旋する等既存施設の利活用、交流人口の増大を図る。</p>					
<b>事業内容</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や青年層の能楽サークルを対象とした能楽合宿の誘致</li> <li>・地元の若手能役者や地元住民との交流</li> <li>・能楽合宿に参加した学生の「水焰の能」への出演依頼</li> <li>・地元農家での農業体験</li> <li>・王祇祭や蠟燭能の観能またはボランティア</li> <li>・地元サークル等への黒川能伝習館の能舞台の貸館や農家民宿の斡旋</li> </ul>					
		<b>2021 (R3) 予算額</b>		<b>400 千円</b>	

事業名	丸岡城跡環境整備事業	実施年度	R2 (～R3)	事業種別	継続 ハード
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(4) 歴史文化の継承と活用促進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>○丸岡城跡史跡公園は、史跡復元の面的整備を平成21年度末に完了し、続けて、平成28年度にはガイダンス施設として武家住宅旧日向家を復元整備して、以降、2,000人を超える観光客を迎えている。</p> <p>○バス等での来訪やイベント開催時には、市道が狭く進入できなかつたり、駐車台数が少なく利活用に支障をきたしていることから新たな駐車場整備を地元自治会や顕彰団体から強く求められている。</p> <p>○マイクロバス以上の大型車がガイダンス施設に進入できるよう市道の拡幅を要望されているが、事業費が高額になるため、駐車場整備で支障事項の解決を図るもの。</p>					
事業目的					
<p>丸岡城跡史跡公園を会場としたイベント開催時には、市道が狭くマイクロバスが進入できなかつたり、現駐車場が狭いため来訪に支障をきたしている。</p> <p>新たに駐車場を整備し、大型バス等での来訪やイベント開催時の駐車を容易にして、地域資源の更なる利活用を図りながら、観光振興、交流人口の拡大、地域の活性化に資するとともに、地元の顕彰活動を通じ地域コミュニティの充実を図る。</p>					
事業内容		<p>大型バス等での来訪やイベント開催時の駐車に支障をきたしていることから、史跡公園近辺に駐車場を整備するもの。</p> <p>○用地買収 [950㎡] R2年度完了</p> <p>○分筆登記業務委託 R2年度完了</p> <p>○測量設計業務委託 R2年度完了</p> <p>○駐車場整備工事 [乗用車14台、大型バス2台]</p> <p>⇒ R3年度完了(R2予算繰越工事)予定</p>			
		※R2予算の繰越明許予定			5,515千円
		2021(R3)予算額			0千円

事業名	櫛引綴れ織り文化保存事業	実施年度	R1～R5	事業種別	継続 ソフト・事業補助
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(4) 歴史文化の継承と活用促進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成8年に京都「石川つづれ」が旧櫛引町に設置した「土筆工房」を契機として、京都西陣織りの流れを汲み、櫛引地域の家庭内産業として栄え、現在も鶴岡地域、櫛引地域に残存。</li> <li>綴れ織り工房の虚籟庵は、歴史ある「つるおか絹物語」として世界へ発信。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>綴れ織り職人が少なく、後継者不在、職人の高齢化。</li> <li>天澤寺にある遠藤虚籟の糸塚、綴れ織り工房の虚籟庵の認知度が低い。</li> <li>作品製作に時間と手間がかかる。</li> <li>需要、販路が限られている。</li> <li>伝統工法を承継していく体制が確立されていない。</li> </ul>		<p>&lt; 虚籟庵（羅漢閣） &gt;</p>			
事業目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>故遠藤虚籟の顕彰、思想を受け継いだ錦綴織曼荼羅作品の継承、櫛引地域で受け継がれている綴れ織りの情報発信等を通じて、交流人口の増加を図り、伝統工法を継承を図る。</li> <li>虚籟庵の模様替えを一つの契機とし、天澤寺や丸岡城跡史跡公園、楽朋館等の周辺施設と一体となった伝統文化観光の拠点として、地域経済の活性化を図る。</li> </ul>			
事業内容		<p>顕彰会が行う故遠藤虚籟の顕彰と綴れ織りの展示・体験、情報発信活動に対する事業補助を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>虚籟庵の模様替え (R3) <ul style="list-style-type: none"> <li>丸岡城跡史跡公園の休憩所・接客通用口部分の模様替え</li> <li>故遠藤虚籟や作品のパネル設置等</li> <li>綴れ織り商品の展示、販売 ・織り機の展示、綴れ織り体験の実施</li> </ul> </li> <li>情報発信 (R3～R5) <ul style="list-style-type: none"> <li>遠藤虚籟・綴れ織り作品のパネル・パンフレット作成、設置</li> <li>ホームページ等を活用した情報発信</li> </ul> </li> </ol>			
		2021 (R3) 予算額		610 千円	

< 虚籟庵空間デザインイメージ >






<b>事業名</b>	<b>櫛引地域デマンド交通導入事業</b>	<b>実施年度</b>	R1～	<b>事業種別</b>	継続 ソフト
		<b>櫛引地域振興計画での位置づけ</b>		(5) 地域づくりの推進	
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>イメージ図・写真等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動手段のない高齢者の増加への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免許証返納者の増加 2019年度全国で60万件（前年比43%増、過去最高）</li> <li>・ 市運転免許返納者支援数 2019年度685件（前年比43.9%増）</li> </ul> </li> <li>● 域内に公共交通空白地域が点在</li> <li>● スクールバス住民混乗の低迷 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・生徒の通学が主目的で運行経路やダイヤに制限</li> </ul> </li> <li>● 路線バス見直しの必要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松根線の利用者が大幅に減少し、維持が難しくなっている</li> <li>・ 来年度末で鶴岡南高校山添校が閉校し、さらに利用者の減少が見込まれる</li> </ul> </li> <li>● 域内交通と路線バスとの役割分担の明確化</li> </ul>					
<b>事業目的</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動手段を持たない高齢者等の通院や買物等日常生活に不可欠な移動を支援□</li> <li>● 櫛引の赤川右岸地域からデマンド交通（乗合タクシー）の導入を行う</li> <li>● 令和4年度以降の松根線短縮の場合の代替機能を担う</li> </ul>					
<b>事業内容</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集落座談会にて事業内容の説明と意見の聞き取り</li> <li>● 地域公共交通会議にて正式協議</li> <li>● 制度の運営を担当する組織の立ち上げ</li> <li>● 道路運送法の規定に基づく許可申請</li> <li>● 試験運行（10月～）</li> </ul>					
		<b>2020 (R3) 予算額</b>		<b>3,477 千円</b>	






<b>事業名</b>	くしびき若者未来創造事業	<b>実施年度</b>	R1～R4	<b>事業種別</b>	継続 ソフト・事業補助
		<b>櫛引地域振興計画での位置づけ</b>		(5) 地域づくりの推進	
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		イメージ図・写真等			
<p>市町村合併により新市としての一体感は醸成されてきているが、旧櫛引町を単位にまちづくりを推進して行こうとする若者の機運は低下してきているとも言われている。</p> <p>また、地域のリーダーが高齢化してきており、次世代への継承を図るため、地域のまちづくりをリードしていける若い人材を発掘・育成することが急務となっている。</p>		<div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px;"> <b>テーマ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分(たち)の考えや思いを語り合い<b>交流</b>を深めよう</li> <li>○興味のあることを<b>研修</b>してみよう</li> <li>○自分(たち)でやってみたいことを<b>実践</b>してみよう</li> </ul> </div>			
<b>事業目的</b>		<div style="background-color: #bbdefb; padding: 5px;"> <b>これまで…</b> <span style="float: right;">地域の若者が、思いを共有する「場」がない。</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; padding: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p><b>地域のプレイヤー (事業者・農業者等)</b></p> <p>個人の活動</p> <p>くしびきこしゃってプロジェクト</p> <p>グループの活動</p> <p>くしビギン!</p> <p>グループの活動</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e1eef6;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強したいことがあるけど、一人でやりきれかわからない</li> <li>・やりたいことがあるけれど、どうい手法があるんだろう</li> <li>・今やっているものを一緒にやってくれる人がいればなあ</li> <li>・気軽に話し合える場がほしいなあ</li> </ul> <p style="text-align: right;">その他、次代を担うプレイヤー(No-Side等)</p> </div> </div> <div style="background-color: #bbdefb; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>■それぞれが単独で活動、つながりが薄い</li> <li>■語り合える(情報共有できる)「場」がない</li> <li>■新たな仲間を呼び込めない</li> </ul> </div>			
<p>協働のまちづくり、地域の未来創造には、若者の英知と独創的アイデア、そして行動するエネルギーが不可欠であることから、櫛引地域の若者による研修や交流等を通じて、地域のまちづくりを牽引していけるような人材の育成に寄与する。</p> <p>櫛引地域では、まちづくり塾の活動を契機とした若者グループによる「こしゃってマルシェ」が定期的開催されており地域内外から高い評価を得ているが、若者が地域のまちづくりに参画する機会をさらに創出するため、まちづくり塾や生涯学習センターと連携・協力しながら、地域のまちづくりを担うプレイヤーの発掘と育成を図って行く。</p>		<div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px;"> <b>これから…</b> <span style="float: right;">集まって、互いの活動のヒントや新しい視点を見つける「場」として活用！</span> </div>			
<b>事業内容</b>		<div style="background-color: #c8e6c9; padding: 10px;">  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #fff;">             ○○が地域にあったら楽しそう！           </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #fff;">             私たちの活動を一緒にやってみない？           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #fff;">             今やっていることを、他の何かと一緒に出来ないかな？           </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #fff;">             こんなことを考えてるんだけど…           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #fff;">             楽しいことやってみよう！           </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #fff;">             こういう勉強会をやってみませんか？           </div> </div> </div> <div style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分自身のスキルアップと仲間づくり</li> <li>●各グループ活動を継続しながら、他のグループとの連携</li> <li>●元気な地域づくりと、将来の創造 (新グループでの活動も)</li> </ul> </div>			
<p>櫛引地域に在住・在勤する高校生からおおむね40代の若者による研修等の事業を実施し、参加者が実施することを想定した事業の検討を行う。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕掛人養成講座への参加 5回 (櫛引生涯学習センター主催)</li> <li>・仕掛人養成講座で検討された事業の実施 3月下旬→延期</li> <li>・先進地視察 3月予定 → 中止</li> </ul> <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ1回(※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催調整中)</li> </ul>		<div style="background-color: #ffccbc; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> <span>2021 (R3) 予算額</span> <span>253 千円</span> </div>			

事業名	櫛引地域希少淡水魚保存事業	実施年度	H31～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>希少淡水魚イバラトミヨの保存は、櫛引町時代の平成6年から継続しているものである。</p> <p>当該イバラトミヨの生息池がある板井川地区では、平成20年に地元有志により「イバラトミヨを守る会」が設立され、地域ぐるみで希少淡水魚の保全に取り組んでいる。</p> <p>また、山形県では、レッドリストを改定し、当該イバラトミヨは準絶滅危惧種から絶滅危惧 I B類に変更されている。</p> <p>以上のことから、希少種イバラトミヨの保全を継続する必要がある。</p>		 			
事業目的		 			
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イバラトミヨ生息池借上</li> <li>・ポンプ設置用地借上</li> <li>・地下水汲み上げポンプの電気料負担</li> <li>・地元等と連携した環境学習会の開催</li> <li>・公共施設でイバラトミヨを展示するとともに学校等と連携した活動の実施</li> <li>・市HPのイバラトミヨに関するページの管理、更新</li> </ul>			
		2021 (R3) 予算額		128 千円	

事業名	櫛引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>・S53年花と緑の町推進会議が結成され、花いっぱい運動がスタート。S55年に櫛引町の花「サルビア」を制定し、各地区自治会に植栽したサルビアを審査する花いっぱいコンクールを開催。S59年から国道112号歩道にサルビアを植栽し現在まで継続している。</p> <p>・櫛引花と緑の会を結成し、市（補助金）、賛助金、地区自治会費を財源に事業を実施。</p> <p>・国道112号線の植栽花壇は、通称「サルビアロード」とよばれ、歩道植樹帯の設置によって交通事故を低減させる役割を果たすとともに、通行者に心のやすらぎを与えており、H20年には緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞している。</p> <p>・国土交通省からの支援を受け、下山添地区老人クラブを中心に賛助会員、市職員や鶴岡南高校山添校等ボランティアの協力により支えられてきたものであり、今後も継続していくためには行政の支援が必要不可欠である。</p> <p>・下山添地区老人クラブが国道花壇維持管理の中心を担っていたが、現在は対応できなくなったため当会の顧問を中心に実施しているが、高齢化や担い手不足が課題となっている。また、国道植栽にボランティア協力をいただいていた鶴岡南高校山添校が令和3年度をもって閉校されることにより、作業協力者の大幅な減少が懸念される。</p> <p>・今後も運動を継続していくためには、維持管理の担い手やボランティアの確保が必要である。</p>		<div style="background-color: #4b4b9b; color: white; padding: 10px;"> <h2 style="text-align: center;">花いっぱい運動</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧櫛引町の花「サルビア」を地域全体に植栽</li> <li>・国道112号線、各地域公民館等で実施</li> <li>・高齢化等で活動が困難な箇所もある</li> </ul>  </div>			
事業目的		<div style="background-color: #add8e6; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【実施事業】                      【継続事業へのテコ入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道112号線サルビア植栽事業</li> <li>・櫛引地域花いっぱいコンクール</li> </ul>  </li> <li style="width: 10%; font-size: 2em;">+</li> <li style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手確保の検討</li> <li>・サルビア栽培管理研修</li> </ul>  </li> </ul> </div>			
事業内容		<div style="background-color: #f08080; padding: 10px; border: 2px solid blue;"> <h2 style="margin: 0;">花いっぱい運動の継続により明るく 住みやすい地域へ</h2> </div>			
<p>・櫛引花と緑の会（事務局：櫛引庁舎総務企画課）が実施する、サルビアの植栽等費用に対して引き続き補助金を交付する。</p> <p>・20地区の参加による花いっぱい運動とコンクールの実施</p> <p>・国道112号四車線区間へのサルビア植栽と肥培管理</p>		2021(R3) 予算額		350 千円	



事業名	くしびき夏のイベント推進事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>少子高齢化の進行や人口減少、就業構造の変化などの要因により、地域の連帯感の希薄化が懸念されていることから、地域住民や関係団体が連携・協力して賑わいを創出しながら、地域のまとまり・活力を維持して行く取組みが求められている。</p> <p>黒川能野外能楽「水焰の能」は、旧櫛引町誕生30周年の記念事業の一環で開催したイベントで回数を重ねて櫛引地域における夏の風物詩として定着している。</p>		<p style="text-align: center;"><b>くしびき夏まつり</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>伝統芸能の発表部門</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>賑わい交流部門</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ステージ部門</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">水焰の能</p>  <p>黒川能 能二番と狂言一番、東小児童の舞囃子</p> </div> </div>			
事業目的					
<p>櫛引地域における夏のイベント、黒川能野外能楽「水焰の能」の会場を活用しながら、地域住民や関係団体が連携・協力のもと、地域をあげた夏のイベント「くしびき夏まつり」を開催することで賑わいを創出し、地域のまとまり・魅力を高めるとともに、交流人口の拡大による人・もの・情報の交流をなお一層推進し、地域の活性化と発展につなげる。</p>					
事業内容					
<p>8月第1土曜日開催の「野外能楽 水焰の能」と、前日にはその会場を活かした「くしびき夏まつり」を開催し、櫛引地域の夏の二大イベントとしている。</p> <p>夏まつりについては、櫛引地域の老若男女が集うイベントに定着してきており、今後とも継続開催していくことを実行委員会で確認している。これまでの積み重ねに新たなアイディアを加えつつ、広い年代が交流する賑やかな時間創出をする事業となるよう支援を行う。開催にあたっては商工団体、農業団体、観光団体等により組織される実行委員会を、市が共催する形で運営補助金の拠出とあわせ人的支援も行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商業者等による展示販売、農業団体・産直組織による特産物や姉妹都市の特産品の紹介販売</li> <li>○ 子ども向けコーナーの設置 (バルーンアート、バッテリーカー、縁日コーナー)</li> <li>○ ステージアトラクションの実施 (伝統芸能の発表、歌謡ショー)</li> </ul>					
		2021 (R3) 予算額		360 千円	

事業名	櫛引地域交通安全・防犯の日啓発事業	実施年度	R1		事業種別	完了 ソフト																																																													
		櫛引地域振興計画での位置づけ				(5) 地域づくりの推進																																																													
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性																																																																	
<p>櫛引地域では1985年から、毎月一日を「町交通安全の日」と定め、地域住民や通過車両に交通安全を呼びかける目的で、町（市）で配布した黄色い小旗を家の入口や門柱に掲げて交通安全を啓発する運動を行っている。これは櫛引地域に深く浸透しており、地域独自の運動として現在まで継続しているものである。</p> <p>旗は最初の全戸配布から30年以上経過しており、各地区からは旗の老朽化や紛失の声も多数寄せられているほか、配布後に地域に住み始めた家庭には配付されていない、地区によっては取り組み姿勢に差があるなどの課題がある。</p> <p>また、櫛引地域では夏の安全県民運動期間中や秋の交通安全運動期間において、立哨指導や「000（なしなしなし）作戦」などを鶴岡市防犯協会櫛引支部と連携して実施するなど、防犯活動にも積極的に取り組んでいる。</p>		<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年10月末に小旗を全戸配布。合わせて啓発用にチラシも配布。</li> <li>全戸配布前の明るい地域づくり櫛引大会内で、小旗の贈呈式を行った。</li> <li>小旗掲揚数調査を実施。（令和元年10月と11月、令和2年4月の計3回）</li> <li>小旗と同様の内容でのぼり旗を作成し、各地区や事業所に配布した。</li> <li>毎月1日は音声告知放送で住民に周知（令和2年度からは前日も放送）。</li> <li>毎月1日は庁舎前にのぼり旗・小旗を掲揚。（荒天時を除き、前日夕方から掲揚）</li> </ul> <p>(参考) 掲揚調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">1回目(2019.10.1) ※小旗更新前</th> <th colspan="3">2回目(2019.11.1) ※小旗更新後</th> <th colspan="3">3回目(2020.4.1)</th> </tr> <tr> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>パーセンテージ</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>パーセンテージ</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>パーセンテージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西地区</td> <td>718</td> <td>65</td> <td>9%</td> <td>721</td> <td>202</td> <td>28%</td> <td>718</td> <td>147</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>東地区</td> <td>275</td> <td>47</td> <td>17%</td> <td>248</td> <td>65</td> <td>26%</td> <td>248</td> <td>74</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>南地区</td> <td>332</td> <td>107</td> <td>32%</td> <td>321</td> <td>119</td> <td>37%</td> <td>321</td> <td>141</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td><b>全体</b></td> <td><b>1,325</b></td> <td><b>219</b></td> <td><b>17%</b></td> <td><b>1,290</b></td> <td><b>386</b></td> <td><b>30%</b></td> <td><b>1,287</b></td> <td><b>362</b></td> <td><b>28%</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>調査方法 ※西・東・南地区から4地区ずつ、計12地区を対象に実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">更新後小旗掲揚の様子</p> <p style="text-align: right;">のぼり旗</p> <p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小旗更新後の令和元年11月1日調査では、更新前より掲揚率が全体的に増加した。（17%⇒30%）</li> <li>掲揚率はほとんどの地区で増加したものの、地区によって差がある。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全や防犯など関係団体が協力して啓発を行う。</li> <li>音声告知放送や広報を活用し、引き続き地域全体に周知・啓発を行う。</li> </ul>							区分	1回目(2019.10.1) ※小旗更新前			2回目(2019.11.1) ※小旗更新後			3回目(2020.4.1)			調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	西地区	718	65	9%	721	202	28%	718	147	20%	東地区	275	47	17%	248	65	26%	248	74	30%	南地区	332	107	32%	321	119	37%	321	141	44%	<b>全体</b>	<b>1,325</b>	<b>219</b>	<b>17%</b>	<b>1,290</b>	<b>386</b>	<b>30%</b>	<b>1,287</b>	<b>362</b>	<b>28%</b>
区分	1回目(2019.10.1) ※小旗更新前			2回目(2019.11.1) ※小旗更新後			3回目(2020.4.1)																																																												
	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ	調査戸数	掲揚戸数	パーセンテージ																																																										
西地区	718	65	9%	721	202	28%	718	147	20%																																																										
東地区	275	47	17%	248	65	26%	248	74	30%																																																										
南地区	332	107	32%	321	119	37%	321	141	44%																																																										
<b>全体</b>	<b>1,325</b>	<b>219</b>	<b>17%</b>	<b>1,290</b>	<b>386</b>	<b>30%</b>	<b>1,287</b>	<b>362</b>	<b>28%</b>																																																										
事業目的		<p>交通事故・犯罪のない安全で安心な町を実現するため、これまでの「交通安全の日」の旗を新たに「交通安全・防犯の日」と改めて作成・配布するとともに、広報や音声告知放送などで改めて活動の趣旨を説明することで、櫛引地域の住民や通過車両に対して交通安全・防犯の意識を醸成する。</p>																																																																	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに防犯啓発の内容も加えた「交通安全・防犯の日」の旗を作成し、R1.10月末に櫛引地域に全戸配布。</li> <li>啓発チラシ全戸配布</li> <li>R1.10.20に行われた明るい地域づくり櫛引大会では小旗の贈呈式を行ったほか、大会宣言に小旗掲揚運動の推進による意識高揚を盛り込み、一層の運動推進を確認した。</li> <li>毎月1日は音声告知放送にて周知を行い、庁舎前にも小旗を掲揚する。</li> <li>R2年度以降は、小旗の補充・交換分を庁舎に保管し、問い合わせに対応する。</li> </ul>																																																																	
<b>2021 (R3) 予算額</b>					<b>完了 千円</b>																																																														


事業名	楡引地域いきいき健康活動拠点運営への支援事業	実施年度	R2～	事業種別	継続 ソフト
		楡引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>平成29年度までは、地区公民館等の施設を使用しながら概ね65歳以上の高齢者を対象に、語らいや交流、運動や健康づくりなどを通じて、閉じこもり・認知症などの予防と要介護状態にならないことを目的として、楡引地域の多くの地区でいきいき健康クラブ運営事業（介護予防事業）が実施されていた。</p> <p>現在は、介護保険法の改正に伴い、市全域で長寿介護課が所管する「地域介護予防活動支援事業」に移行し、年間を通して定期的に運動（体操）を取り入れることで、高齢者の基礎体力・筋力アップを図ることで介護予防の効果を高める内容に見直されている。</p> <p>このため、いきいき健康クラブ運営事業とは取り組み内容が大きく異なっているため、従来の事業を代替するには至っておらず、移行を断念し高齢者同士の交流や語らいなどの機会を失っている地区も一部ある。</p> <p>なお、住民自治総合交付金の見直しにより、地区の判断で自由に活動できる財源が多少なりとも交付されている。</p>		<p>◆ 高齢者を対象として関係機関や個人等が実施している様々な分野の講座メニューやその申込先等をわかりやすく一覧で整理・配布</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">健康づくり、介護予防、閉じこもり予防、生きがい・絆を深める活動</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">体操・軽スポーツ・レクリエーション・創作・芸術・研修等</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; background-color: #ffff00;">高齢者が住む地区の中に、気軽に歩いて参加できる活動の場（活動拠点）の継続設置や新規開設へつなぐ</div>			
事業目的					
事業内容		<p>各種講座・研修を企画するにあたり参考になるリストを作成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①情報の収集</li> <li>②提供メニューの検討・照会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・分野・項目を整理して、照会内容の検討</li> <li>・照会先のリストアップ～照会</li> </ul> </li> <li>③リストの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リストの編集</li> </ul> </li> <li>④情報提供・事業啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区へリストを配布・説明</li> </ul> </li> </ol>			
		【参考】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域介護予防活動支援事業【長寿介護課】</li> <li>・ いきいき百歳体操講座【長寿介護課】</li> <li>・ 生涯現役推進事業（なり元気塾）【市社協事業】</li> <li>・ 福祉活動支援事業（サロン活動）【市社協事業】</li> <li>・ その他【地区単独事業】</li> </ul>	
		2021(R3)予算額		- 千円	

※ いきいき百歳体操講座（板井川地区）の様子



事業名	「空にかける階段」インフォメーション事業	実施年度	R1～R2	事業種別	完了 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性			
<p>(背景) 櫛引地域出身の世界的彫刻家「富樫実」(名誉市民)の「空にかける階段」シリーズは、櫛引地域の富樫ロード(仮称)や櫛引庁舎を始め、市内では庄内空港、山形自動車道鶴岡IC、美咲町開発地、開運橋、千歳橋があり、国内外にも多数設置されており、その芸術的評価は京都市文化功労賞、紺綬褒章等を受賞するなど権威の高いものである。現在、氏の木製作品は、櫛引庁舎に数多く展示、公共施設や民間企業に貸し出しを行うことで気軽に目に触れられる展示を行っている。</p> <p>(課題) 氏の作品については櫛引地域の各所に展示されているが、氏の人物像、功績、作品思想等の紹介が薄く地域住民より認知されていないという課題がある。</p> <p>(住民ニーズ) 櫛引観光協会をはじめ地域の富樫支援者では、氏の功績を広く知らしめ後世に伝え、また櫛引地域の芸術的シンボルとして「空にかける階段」を位置づけ、黒川能、丸岡城跡の観光資源に繋げたいという考えが以前よりある。</p>		<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者による懇談会開催</li> <li>・ロビー展示ケースへの作品展示</li> <li>・紹介パネルの作成及びQRコードから紹介映像へのリンク</li> <li>・櫛引生涯学習センター内の各所への作品展示(ホール、ロビー、各会議室)</li> </ul>			
事業目的		ロビー(展示ケース)への作品展示等の様子			
<p>○世界的彫刻家である富樫実氏(名誉市民)の「空にかける階段」作品を紹介するブースを拠点として整備するとともに、市内各所に点在する氏の作品を観て回遊できる仕組みを作り氏の功績を広く伝える。</p>					
事業内容		評価			
<p>○名称 「空にかける階段」インフォメーションブース(仮称)</p> <p>○設置場所 生涯学習センター(ロビー)</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品紹介ブースの整備</li> <li>・氏の彫刻作品や作品思想の紹介パネルとYouTube映像の検討</li> <li>・市内各所に設置されている作品を回遊できる仕組みづくり。</li> <li>・拠点整備のための関係者懇談会の開催。</li> </ul> <p>上記の予定で進めていたが、施設改修を伴う展示を行うのではなく経費抑制などの観点から方向転換し、櫛引生涯学習センターへの作品展示、紹介パネル作成、QRコードからの市HP紹介映像へのリンクを実施し、当事業としては区切りをつけて完了することとした。</p>		<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富樫氏の作品の貸し出し事業・櫛引生涯学習センターへの展示については、継続して実施。</li> </ul>			
2021(R3)予算額					完了 千円



事業名	橿引地域の情報発信事業（橿引PR事業）	実施年度	R1～R2	事業種別	統合（完了） ソフト																													
		橿引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進																														
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性																																
<p>○飛躍的に普及拡大しているインターネットは、発信できる情報量が豊富で、即時性や経済性、双方向性といった特性を持っている。特にソーシャルネットワーキングサービス（SNS）は、即時性及び経済性に優れており幅広い人々に情報発信が可能となる。</p> <p>○ホームページやパンフレットは形式的であり、具体的な内容が伝わりづらい。</p> <p>○橿引地域外の人々が橿引地域のタイムリーな情報について知る機会がほとんどない。</p> <p>○KCTはあるものの橿引・朝日地域のみでありそれ以外の地域に動画で情報発信はできていない。</p>		<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">実績</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>■ SNS投稿数 <span style="float: right;">(単位:回)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">メイン</th> <th style="width: 15%;">動画</th> <th style="width: 15%;">ストーリーズ (品種紹介)</th> <th style="width: 10%;">投稿先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>61</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">Instagram Facebook</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>60</td> <td>7</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: right;">  <p>R3年度から、 twitterアカウント を開設予定</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div> <p>■ SNSフォロワー数 <span style="float: right;">(単位:人)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">Instagram</th> <th style="width: 15%;">Facebook</th> <th style="width: 10%;">合計</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>313</td> <td>225</td> <td>538</td> <td>R2.3.31現在</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>652</td> <td>305</td> <td>957</td> <td>R3.1.31現在</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div> </div>					メイン	動画	ストーリーズ (品種紹介)	投稿先	R1年度	61	—	—	Instagram Facebook	R2年度	60	7	50		Instagram	Facebook	合計	備考	R1年度	313	225	538	R2.3.31現在	R2年度	652	305	957	R3.1.31現在
	メイン	動画	ストーリーズ (品種紹介)	投稿先																														
R1年度	61	—	—	Instagram Facebook																														
R2年度	60	7	50																															
	Instagram	Facebook	合計	備考																														
R1年度	313	225	538	R2.3.31現在																														
R2年度	652	305	957	R3.1.31現在																														
事業目的		<p>近年の情報発信の多様化により市民や観光客の情報入手方法はホームページやパンフレットのみだけでなく、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を利用したものが増えている。SNSでは写真を中心とした文字での情報を、動画を活用した情報が発信可能である。これらを利用し、SNS世代である若者を中心に橿引のフルーツを中心として日常風景などを発信する。</p>																																
事業内容		<p>■ SNS (facebook・instagram) の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元々4月に立ち上げた「くしびきフルーツ日記」(R2年2月現在vol.58配信)において、静止画・イラストだけでなく果樹を中心とした作業や橿引の日常風景などについて動画と連動した情報発信を行う。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">本事業については、令和2年度より「くしびきフルーツ振興プロジェクト事業」に統合し、内容を強化しながら情報発信を継続することとした。</p>																																
		評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSによる情報発信の強化により、橿引産フルーツの訴求効果が高まった。</li> <li>・「くしびきフルーツ日記」が配信されることで、農家の生産意欲の向上につながった。</li> </ul>																														
		今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業については「くしびきフルーツ振興プロジェクト事業」に統合し、ブラッシュアップを図りながら情報発信を継続する。</li> </ul>																														
2021 (R3) 予算額				統合 千円																														



事業名	やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業	実施年度	R6(R2)～R9	事業種別	継続 ハード・ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(5) 地域づくりの推進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>1. 子どもが、遊べる公園・環境が少ない。</p> <p>2. 年齢問わず地区民の“いこいの広場”としてのスポーツセンター付近を拠点施設として 整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。</p> <p>3. 桜開花時期、やすらぎ公園沿いにぼんぼり設置要望がある。</p> <p>4. 桜の手入れ不足の声（テングス病駆除や大枝剪定）</p> <p>5. 桜の開花時期に必ず馬渡川付近への行き方についての問い合わせがあるが、道路標識が無いため、説明に苦慮する。</p>					
事業目的					
<p>多くの地域資源が集積する「やすらぎ赤川河畔エリア」を一体的にとらえ適切な管理と活性化を施すことで、交流人口を増やしにぎわいを創出する。</p> <p>また、スポーツ公園付近に遊具の新設、年齢問わず地区民の“いこいの広場”としてのスポーツセンター付近を拠点施設として整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。</p>					
事業内容					
<p>やすらぎの赤川河畔エリアは住民いこいの場の拠点化</p> <p>①周辺施設との赤川周遊（右岸含む）が出来るレンタサイクルの配置。 （サイクルポート：4箇所：スポーツセンター、産直めぐり、王祇会館、丸岡城跡）</p> <p>②誘導案内看板4基（馬渡川の桜づつみへのアクセス）</p> <p>③利用案内看板2基（ジョギング等の案内用）</p> <p>④桜並木の適切な管理 国、地元、市の三者協定による計画的更新、テングス病駆除・大枝剪定</p> <p>⑤ちびっこ広場に遊具設置 「赤川かわまちづくり計画」で整備検討</p>		<p>2021(R3) 予算額</p> <p>— 千円</p>			

事業名	山添校閉校後の跡地活用構想	実施年度	R2～	事業種別	継続 ハード
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>現在、櫛引内の子どもや家族連れの遊び場は、各地区広場、運動公園等があるが、遊具の設置状況としては小型のものがほとんどで、大型遊具がない状況である。子育て世代やまちづくり塾メンバー、地域振興懇談会委員など多方面より、地域に大型遊具のある遊び場が無いとの声が寄せられ、そのニーズは高い。また、地域振興懇談会の中で鶴岡南高等学校山添校の閉校後の跡地利用を今から考えるべきという意見が出されている。</p> <p>山添校は、櫛引地域の公共施設や文教施設が集中している中心地に立地されており、県において有効な活用を考えるよう要望するとともに、活用予定がない場合は、傷まないうちに継続的な利活用を構想するもの。</p> <p>なお、校舎棟に関しては空調設備がすでに故障しており、閉校後に有効に活用していくには多額の修繕費用を要し、老朽度合を鑑みると今後の利活用には慎重な検討が必要。</p>					
事業目的					
<p>櫛引地域の中心地において巨大な遊休施設とならないように調整を図る。</p> <p>県で活用や処分の予定がなく、市で活用可能となった場合には、体育館棟に西部学童保育所の移転、付随設備としてグラウンドの一部に遊具を設置できないかを探る。若手世代等のニーズを考慮し、学童以外でも使用できるものとして仕組みを検討。子育て環境整備の一環として、安全に遊べる場・親子でふれ合える場を創出し、子育て世代や祖父母世代が集い交流することにより地域コミュニティの醸成につなげる。もって少子化への歯止めの一助とする。</p> <p>校舎棟活用については、大きな投資とならないような利用方法を探る。</p>					
事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○県での活用、処分、条件等について意向確認をする⇒市内部の方向性の確認 ⇒以前は白紙であったが、体育館は中高一貫校で継続使用する可能性があるとの情報（市での活用が制限される可能性が出てきた）</li> <li>○市で活用可能な条件を確認しながら構想を検討する（以下想定される活用） <ul style="list-style-type: none"> <li>①校舎棟（教育委員会） 教育委員会で活用の意向有り（1階・2階）</li> <li>②グラウンドの活用検討（教育委員会・櫛引庁舎） <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 屋外人工芝サッカー場</li> <li>2. サッカー場に付随する屋外トイレ、駐車場、外構</li> <li>3. 学童保育に付随する大型遊具整備、広場、水飲み場</li> </ul> </li> <li>③体育館棟（1階武道場）の活用検討（櫛引庁舎） 元々手狭な櫛引西部学童保育所を移転するとともに、外の遊具は放課後・休日にも一般開放する利用を検討する。</li> </ul> </li> <li>○構想が実現できる見込みとなった場合は、各担当部署での事業実施とする。</li> </ul>					
		2021 (R3) 予算額		0 千円	

<b>事業名</b>	<b>「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業</b>	<b>実施年度</b>	R3～R4	<b>事業種別</b>	新規 ソフト
		<b>櫛引地域振興計画での位置づけ</b>		(5) 地域づくりの推進	
<b>背景・課題・住民ニーズ</b>		<b>イメージ図・写真等</b>			
<p>・宝谷地区は「そば」による地域づくりに積極的に取り組んでおり、県産そば新品種「山形BW5号」を「でわ宝」として商標登録し、作付面積は33haで県内最大の産地となっている。また、地区内の団体である「ふるさとむら宝谷管理運営組合」でそば店舗を運営している。</p> <p>・地区内人口が26世帯88名にまで減少、高齢化率も52.3%となり、住民同士の共助にも限界が見えている。</p> <p>・将来的な地域づくりを見据え、平成30年7月に「宝谷地区集落ビジョン」を策定し、平成30年8月から地域おこし協力隊が配属されたが、令和2年9月末で任期途中で退任したため、協力隊員の活動成果を活かしたフォローアップが必要。</p> <p>[地域おこし協力隊の成果の一端]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産そば新品種「山形BW5号」を「でわ宝」として商標登録。</li> <li>・「でわ宝」を使用したお菓子の加工品、マスコットキャラクターなどの開発。</li> </ul>		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>現状と課題</b></p> <p>【地域おこし協力隊の成果の一端】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産そば新品種「山形BW5号」を「でわ宝」として商標登録（作付面積33haで県内最大の産地）</li> <li>・「でわ宝」を使用したお菓子の加工品、マスコットキャラクターなどの開発</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「でわ宝」や加工品の販売促進と情報発信、生産者やそば店従事者の高齢化など後継者が不足</li> <li>・地区内人口が26世帯88名にまで減少、高齢化率も52.3%となり住民同士の共助にも限界が見える</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>今後の対応</b></p> <p>集落ビジョンに基づく取り組みの強化</p> <p>キーワード：「つなぐ」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>でわ宝の ブランド化</p> <p>収益力向上 後継者育成</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報発信の 強化</p> <p>関係人口増加</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ビジョンの ブラッシュアップ</p> <p>集落の維持・ 活性化</p> </div> </div> </div> </div>			
<b>事業目的</b>		<p><b>具体的取組</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>「宝谷そば」のブランド化</b></p> <p>目的：コミュニティビジネスによる収益力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「でわ宝」の直接販売の促進（玄そば・そば粉）</li> <li>・そば関連加工品の魅力向上販路拡大</li> <li>・そば店舗集客力向上の取り組み</li> <li>・持続可能な生産・販売力の確保 等</li> </ul> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>情報発信の強化</b></p> <p>目的：関係人口の増加、集客・販売力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、SNSでの情報発信の強化</li> <li>・プロモーションの実施</li> <li>・移住定住事業との連携</li> </ul> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>集落ビジョンのブラッシュアップ</b></p> <p>目的：地区内資源の活用による地域活性化、集落の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場、宿泊施設、宝谷かぶ等、地域資源の活用（協力隊の取り組みの継続・強化）</li> <li>・ビジョンの中間評価と、取り組み項目の選択と集中</li> <li>・職員アドバイザー制度の活用</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">●職員アドバイザー制度の活用</p>			
<p>・集落ビジョンを有する宝谷地区がビジョン達成のために行う取り組みを支援する。</p> <p>(1) 「宝谷そば」のブランド化（収益力向上、後継者育成）</p> <p>(2) 情報発信の強化（関係人口の増加）</p> <p>(3) 集落ビジョンのブラッシュアップ（集落の維持・活性化）</p>		<b>補助事業として、集落ビジョン実現に向けた取り組みを支援（2年間）</b>			
<b>事業内容</b>		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>宝谷そばポスター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>そば加工品マスコットキャラ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宝谷かぶ</p> </div> </div>			
<p>宝谷地区地域資源活用事業（補助事業）〔R3予算額：1,000千円〕</p> <p><b>【R3 事業内容】</b></p> <p>(1) そば関連商品の販売促進</p> <p>(2) 地域資源活用促進のための環境整備（案内看板、キャンプ場整備）</p> <p>(3) 集落ビジョンの中間評価、ブラッシュアップのためのワークショップの開催</p> <p><b>【実施体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとむら宝谷管理運営組合が実施主体となり、宝谷地区地域資源活用事業を実施する。</li> <li>・事業の実施にあたって、職員アドバイザー制度を活用する。</li> </ul>		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <b>2021 (R3) 予算額</b> </div> <div style="width: 35%;"> <b>1,000 千円</b> </div> </div>			

事業名	横綱柏戸記念館活性化事業	実施年度	R3～R4	事業種別	ソフト・事業補助
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>櫛引出身の名誉市民(旧名誉町民)で、県民栄誉賞第1号受賞者である大相撲第47代横綱「柏戸剛」は、今なお県内出身唯一の横綱であるが、残念ながら現役当時の雄姿を知る者は中高年の世代に限られている。横綱柏戸の偉業を顕彰し、後世に伝えるため平成16年には「横綱柏戸記念館」が建設された。記念館には、横綱柏戸の貴重な資料を保有しているが、解説文などが不足している。また、横綱柏戸の偉業が、現役当時を知らない世代や、地域外から訪れる方などへ広く周知、啓発する施設となっていない状況にある。</p>		<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>具体的取組</b> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">横綱柏戸記念館で柏戸の企画展・講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横綱柏戸没後25周年記念事業として実施。</li> <li>団体利用の多い、秋田・新潟の有名力士の展示も行い、来館者の増加を図る。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">横綱柏戸記念館運営委員会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏戸の偉業を知っている世代や相撲に関わる若い世代を含めて構成。</li> <li>記念館の展示方法、改善点などを整理。</li> <li>R4年度の自主イベントへ向けた検討。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">常設展示の監修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会の意見等を受け、常設展示の見直しを図る。</li> <li>展示品の解説を充実させ、魅力的な展示をする。</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div> </div>			
事業目的					
<p>① 柏戸記念館の資料を、将来に渡って適正な保存・保管を行いながら、横綱柏戸の偉業を通じて地域への関心を高め、地域の誇りを再確認することで、郷土の理解と関心を深め、発展的なまちづくりに活かす。</p> <p>② 県外からの来館者も毎年一定数あることから、横綱柏戸記念館の企画展を充実させ、魅力度アップを図る。</p>					
事業内容					
<p>横綱柏戸の当時の偉業を知っている世代が中心となり、横綱柏戸記念館運営検討委員会を設置。現役時代を知らない若い世代も交え、記念館の展示方法や改善点を整理するとともに、自主的なイベントや企画で記念館を活性化させ来館者の増加を図り、駐車場整備がされた丸岡城址公園などの他施設も周遊していただく事で全体の観光事業の底上げを図る。</p> <p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横綱柏戸記念館で柏戸の企画展・講話を実施する。 ※横綱柏戸没後25周年記念事業として実施。</li> <li>横綱柏戸記念館運営委員会の設置。自主的な管理運営計画や企画・イベントの検討。</li> <li>常設展示の監修。(展示方法の変更、展示品の解説等) ※変更や解説文の掲示は庁舎にて対応。</li> </ul>					
		<p>〔期待する効果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の活性化による来館者増。R1年3,015人⇒R3年3,500人</li> <li>横綱柏戸の偉業を周知、啓発する。</li> <li>イベント・企画を通じた交流人口の増加による地域の活性化。</li> <li>世代間の交流を通じ、お互いが感じる地域への問題を共有する。</li> </ul>			
		2021 (R3) 予算額		135 千円	

事業名	櫛引地域公共交通調査事業	実施年度	R3	事業種別	新規 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(5) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>これまで既存の地域公共交通を活かしながら地域公共交通網を構築してきたが、利用者の減少やバス路線から離れた地域では利用できなかったことから、新たに利便性の高いデマンド交通を導入するなど、交通空白地域や地域全体の交通体系について、より具体的な調査・検討が必要な状況にある。</p> <p>また、市では、バス路線などの幹線については市の責務として維持に努めてきたが、利用者数の少ない路線の効率化も考慮する必要があり、庄内交通バス路線（松根線）の整理も視野に入れる必要がある。</p>					
事業目的					
住民の利便性と公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系を確保するため再編調査事業を実施する。					
事業内容					
<p>1 これまで行われてきた調査事業の結果や路線分析などを活用し、市で計画してきた再編案についての検証と裏付けの調査等を専門家に委託する。</p> <p>2 地域公共交通のあり方を検討する会を設置し、情報の共有や今後の方向性を検討する。</p> <p>3 実証運行のデータを分析し、より市民にとって利用しやすい運行計画を策定する。</p> <p>※既存の交通網含めた藤島・櫛引地域全体の地域公共交通の再編計画の調査・提案等を業務委託する。</p>					
		2021 (R3) 予算額		1,249 千円	